

第 16 版

I 類認定資器材

PCボックスカルバート

RCボックスカルバート

II 類認定資器材

HTCボックスカルバート

(公社) 日本下水道協会認定工場制度適用資器材 (I 類・II 類)



日本PCボックスカルバート製品協会



日本ヒューム株式会社

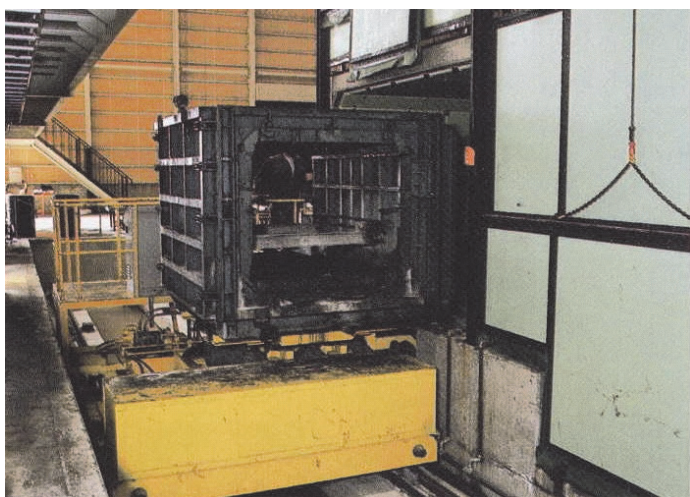
製造から

1



工場全景

2



型組

3



コンクリート打込み

4



脱型

5



曲げ強度試験

施工まで

6



出荷

7



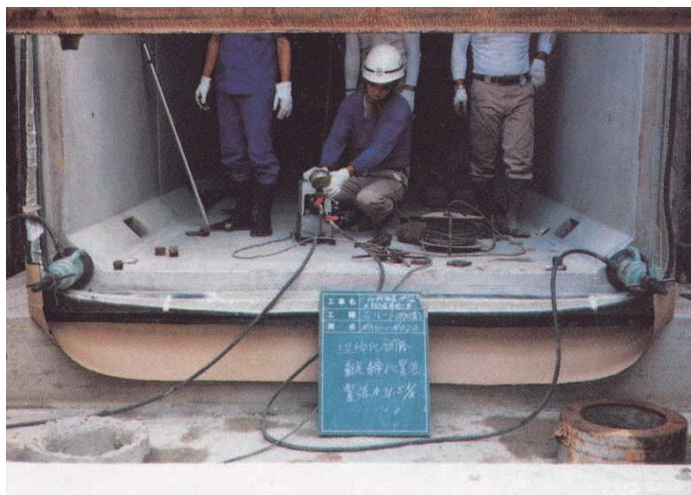
搬入及び施工

8



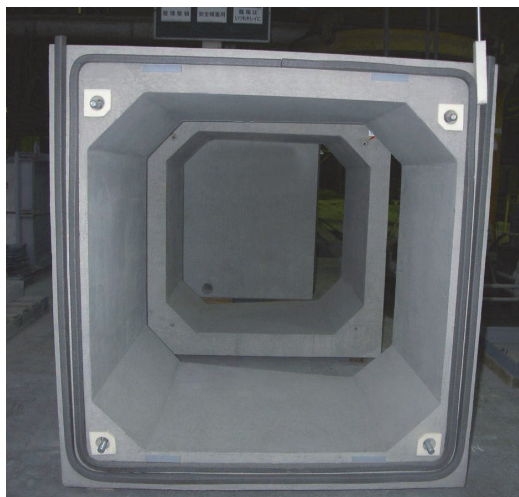
敷設工

9



PC鋼棒による縦締施工

10



T B (タッチボンド) 工法による施工

(公社) 日本下水道協会規格の制定とⅠ類認定資器材指定及び登録

平成 24 年 11 月 1 日付けで(公社) 日本下水道協会規格「下水道用鉄筋コンクリート製ボックスカルバート (JSWAS A-12)」及び「下水道用プレストレストコンクリート製ボックスカルバート (JSWAS A-13)」が制定されました。

それに伴い、製造者団体規格としてⅡ類認定資器材に登録されていた、RCボックスカルバート及びPCボックスカルバートが平成 25 年 3 月 31 日付けで登録取消しとなりました。

構造形式の異なる当協会の「ハイテンションコンクリートボックスカルバート (以下、HTCボックスカルバートという)」は、引き続きⅡ類認定資器材として登録されます。

1. JSWAS A-12、JSWAS A-13 の要求性能

JSWAS A-12、JSWAS A-13 は、性能規定型の規格となっています。要求性能は、曲げ強度、外観、形状・寸法及び寸法の許容差、配筋 (曲げ強度を満足するように製造業者が定める)、水密性、耐震性です。

2. 登録ボックスカルバートの種類

Ⅰ類認定資器材として当協会は、PCボックスカルバート及びRCボックスカルバートを登録いたしました。以下に登録ボックスカルバートの種類を示します。

PCボックスカルバートの種類は、土かぶり範囲に起因する曲げ強度荷重によってⅠ型 (土かぶり 0.20m ~ 1.50m) とⅡ型 (土かぶり 1.51m ~ 3.00m) に、縦方向の接続方法によって、PC鋼棒による縦締め連結を行うH型、高弾性接着剤によるTB (タッチボンド) 工法を行うF型に区分されています。

表-1 PCボックスカルバートの種類

呼び	曲げ強度荷重	縦方向の接続方法
600×600 ~ 5000×2500	Ⅰ型 (適用土かぶり 0.20m ~ 1.50m) Ⅱ型 (適用土かぶり 1.51m ~ 3.00m)	H型 (PC鋼棒による縦締め連結工法による) F型 (TB (タッチボンド) 工法による)

RCボックスカルバートの種類は、呼び及び縦方向の接続方法によって、区分されています。

表-2 RCボックスカルバートの種類

呼 び	縦方向の接続方法
600×600~3 500×2 500	H型 (PC鋼棒による縦締め連結工法による) F型 (TB (タッチボンド) 工法による)

3. II類認定資器材・HTCボックスカルバートの種類

HTCボックスカルバートの種類は、呼び、底部形状、継手形状、接続具及び製品によって区分されています。

表-3 HTCボックスカルバートの種類

呼びによる区分	底部形状による区分	継手形状による区分	接続具による区分	製品による区分
600×600 ～ 1800×1800	S型 I型	D型 F型	A型 B型 C型 TB型	・標準製品 ・異形製品(マンホール用、 取付管用、斜角用、 調整用、可とう性継 手取付用)

S型：内面底部が平らな製品（スタンダード型）

I型：内面底部にインバートの付いた製品（インバート型）

D型：継手部がはめ込み型の製品

F型：継手部が突き合わせ型の製品

A型：接続具の無い製品

B型：接続具の有る製品

C型：ボルトにより縦方向連結を行う場合に用いる製品

TB型：TB（タッチボンド）工法を行う場合に用いる製品

4. ボックスカルバートの形状

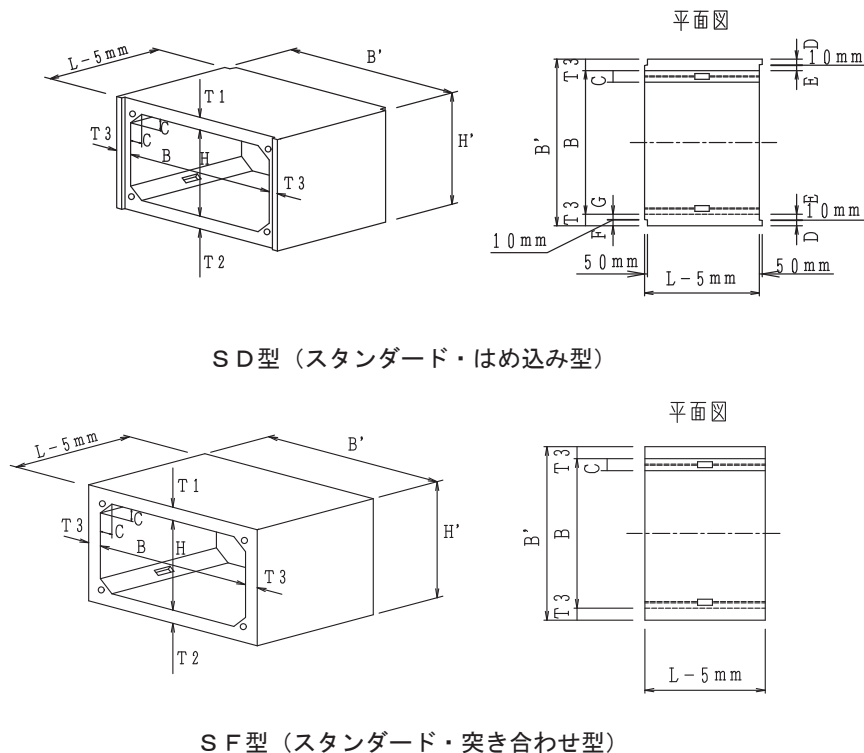
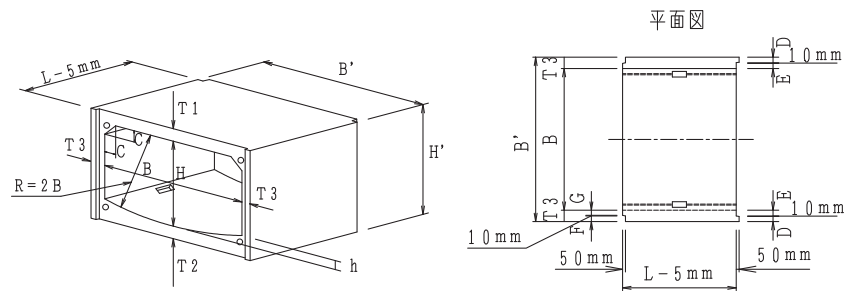
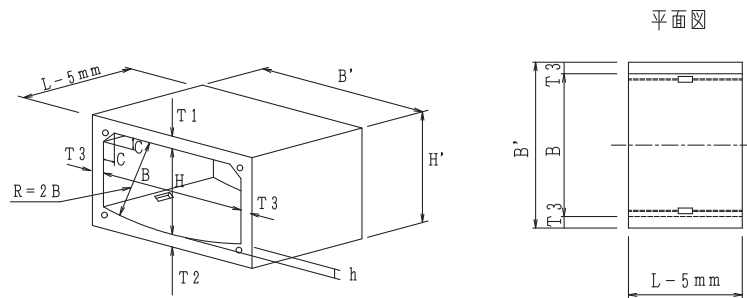


図-1 S型の形状



I D型 (インパート・はめ込み型)



I F型 (インパート・突き合わせ型)

図-2 I型の形状

5. 設計条件

PCボックスカルバート、RCボックスカルバート及びHTCボックスカルバートの規格品の設計条件を下表に示します。

表-4 規格品の設計条件

種別	活荷重	土かぶり (m)	地下水位 (m)
PCボックスカルバート	車両総重量 245 kN (T-25)	I型 0.20 ~ 1.50	GL-0.50
		II型 1.51 ~ 3.00	
RCボックスカルバート		0.20 ~ 3.00	GL-0.50
HTCボックスカルバート		0.20 ~ 3.00	考慮しない
	0.50 ~ 3.00		

その他、特に現場の設計条件が異なる場合、また寸法表以外の特殊寸法等につきましては、ご指定の設計条件に従って設計、製造致します。

6. コンクリート構造物の区分

コンクリート構造物は、一般にPC構造、PRC構造、RC構造に区分されます。

(1) PC構造 (PCボックスカルバート)

「プレストレストコンクリート」構造の略称で、死荷重作用時では部材に圧縮応力度のみが発生し、設計荷重作用時でも引張応力度は発生しますが、ひび割れの発生を許さない構造なので、鋼材の腐食を防止することができ、水密性、耐久性に優れています。また、部材の全断面を有効として設計できますので、部材を軽量化することができます。

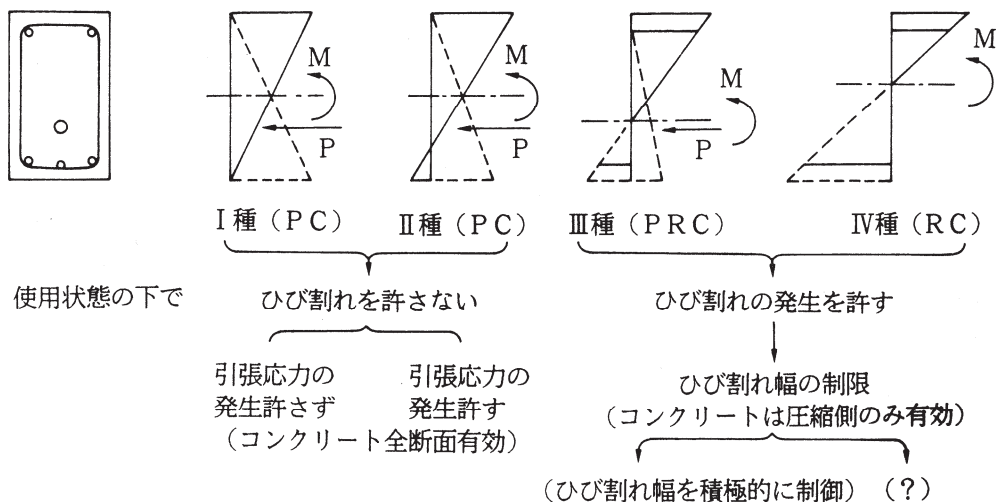
(2) PRC構造 (HTCボックスカルバート)

「プレストレスト・レインフォースド・コンクリート」構造の略称で、高張力異形鉄筋と高強度コンクリートを使用し、さらに、わずかなプレストレスを与えて、ひび割れが発生しにくい構造としています。また、ひび割れが発生してもプレストレスの導入により、ひび割れ幅を自在にコントロールできますので、構造物が必要とされる性能（水密性、耐久性等）や供用条件に見合った設計が可能です。更に、部材に対しては、ひび割れ幅の算定を行い、許容ひび割れ幅以下に制御されており、限界状態設計法にも適合した構造です。

(3) RC構造 (RCボックスカルバート)

「レインフォースド・コンクリート」の略称で、部材に発生する圧縮力はコンクリートで、引張力は鉄筋で受け持たせる構造です。部材の引張側に異形鉄筋を配置することによって、発生するひび割れの分散を図っています。部材設計にあたっては、圧縮側のコンクリートのみ有効と考えています。

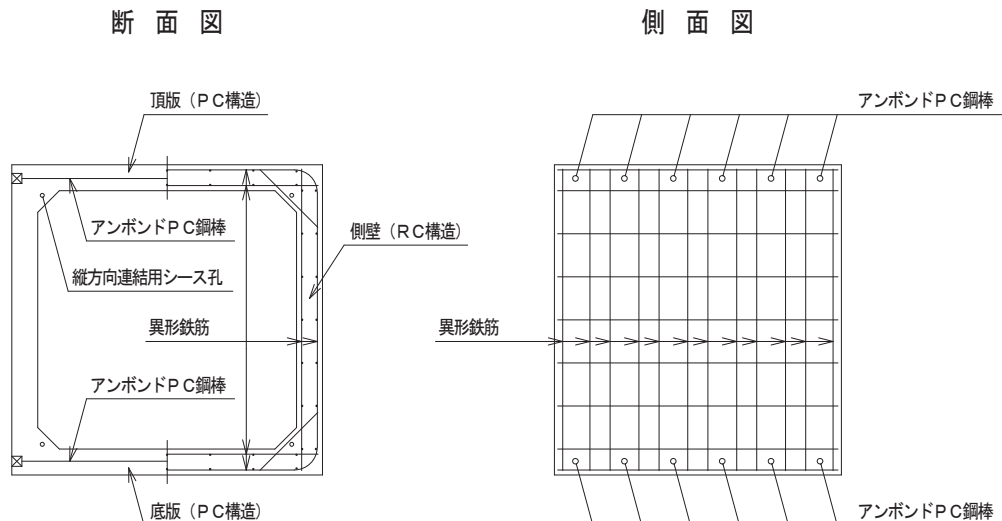
図-3 PC、PRC、RC構造の応力図



(4) PCボックスカルバート（プレストレストコンクリートボックスカルバート）

大きな曲げモーメントの発生する頂版及び底版は、アンボンドPC鋼棒を配置したポストテンション方式のプレストレストコンクリート（PC）構造として、また、頂版に受ける荷重を底版に伝達することから、大きな軸力を受ける側壁については鉄筋コンクリート（RC）構造として設計した製品です。設計荷重が作用した時でも、ひび割れの発生を許さないので、鋼材腐食の心配がなく水密性、耐久性に優れています。また、鉄筋コンクリート構造と比較して部材厚が薄いので、掘削土量の低減、軽量化による施工機械の軽減や施工性の向上が図れる等経済性に優れています。

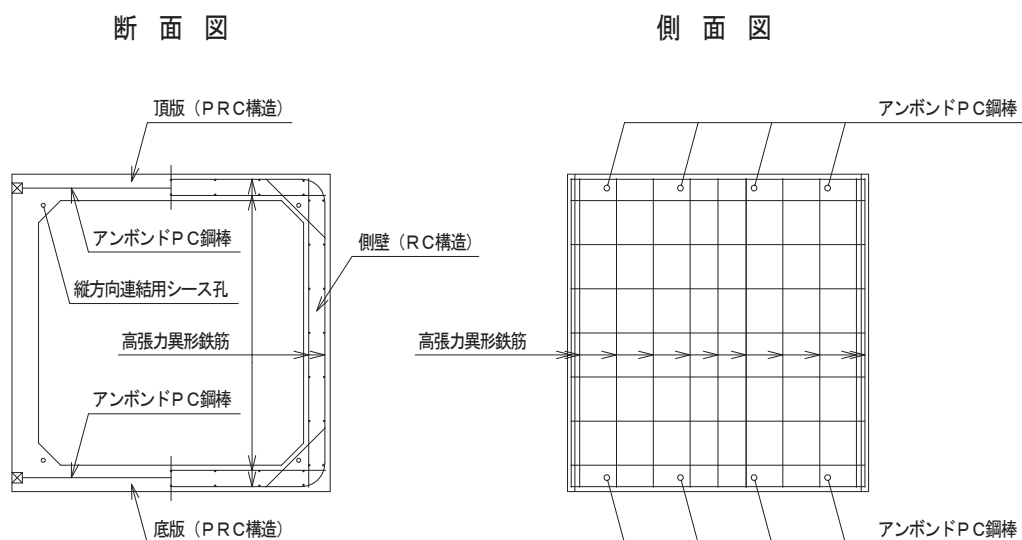
図－4 PCボックスカルバート



(5) HTCボックスカルバート（ハイテンションコンクリートボックスカルバート）

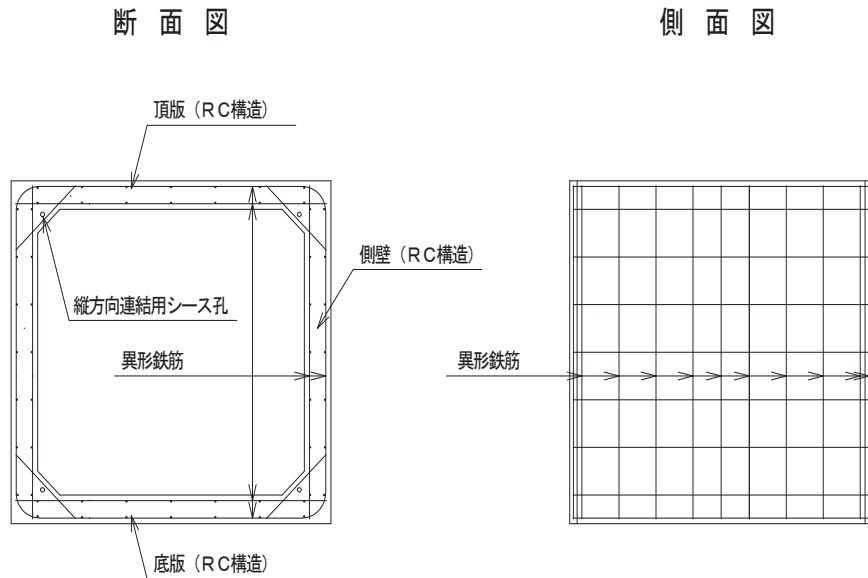
高強度コンクリートと高張力異形鉄筋を使用し、大きな曲げモーメントの発生する頂版と底版には、アンボンドPC鋼棒を使用したポストテンション方式により、わずかなプレストレスを与えて、ひび割れ抵抗モーメントを増大させるとともに、ひび割れ発生時のひび割れ幅とたわみを直接制御し、高い靱性とひび割れ復元性を有するプレストレスト鉄筋コンクリート（PRC）構造とし、また大きな軸力を受ける側壁については、鉄筋コンクリート（RC）構造として合理的に設計された経済性に優れた製品です。

図－5 HTCボックスカルバート



(6) RCボックスカルバート（鉄筋コンクリートボックスカルバート）

図-6 RCボックスカルバート



7. プレキャスト製品の特徴

(1) 品質

品質管理の行き届いた工場で製造していますので、品質が均一で安定しています。

(2) 敷設

据付け及び製品相互を接合するためのPC鋼棒による縦締め工、または、高弾性接着剤による接合工は、施工に習熟した当協会会員会社の責任施工で行いますので安心です。

(3) 工期短縮

工場製品のため、所定の強度に達した製品を現場に持ち込みますので、無駄のない工事工程が計画できます。また、据付け工事はトラッククレーン等で早急に行えるため、場所打ちボックスカルバート工事と比較して施工期間を大幅に短縮できます。

(4) 工費節減

工期の短縮による一般経費、諸人件費の節減、断面厚の減少による掘削土量の減少及び山留工資材の節減が可能になるので、経済効果が大きく工費の節減ができます。

(5) 交通渋滞の解消

工場製品の使用により工期が大幅に短縮されますので、長期にわたる交通渋滞がなくなるとともに、製品敷設後直ちに埋め戻しを行うことにより、早期の交通解放が可能になります。

8. 規格品の寸法

PCボックスカルバート、RCボックスカルバート及びHTCボックスカルバートの規格品の寸法を下表に示します。

表-5 PCボックスカルバート（I型・II型）の寸法

呼び B×H	形状寸法（単位mm）													ブロック質量 （kg/本）	
	B'	H'	T1	T2	T3	C	D	E	F	G	L ^(*)	R ^(**)	h ^(**)	SD,SF型	ID,IF型
600×600	850	850	125	125	125	100	60	55	70	45	2000	1200	38	1920	1900
700×700	950	950	125	125	125	100	60	55	70	45	2000	1400	44	2170	2170
800×800	1050	1050	125	125	125	100	60	55	70	45	2000	1600	51	2420	2430
900×600	1150	850	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	1800	57	2420	2390
900×900	1150	1150	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	1800	57	2790	2760
1000×800	1250	1050	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2000	64	2790	2780
1000×1000	1250	1250	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2000	64	3040	3030
1000×1500	1250	1750	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2000	64	3660	3660
1100×1100	1350	1350	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2200	70	3290	3300
1200×800	1450	1050	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3040	3080
1200×1000	1450	1250	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3290	3330
1200×1200	1450	1450	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3540	3580
1200×1500	1450	1750	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3910	3950
1300×1300	1550	1550	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2600	83	3790	3860
1400×1400	1700	1700	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	2800	89	4880	4970
1500×1000	1800	1300	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	4430	4550
1500×1200	1800	1500	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	4730	4850
1500×1500	1800	1800	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	5180	5300
1800×1200	2100	1500	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	5180	5400
1800×1500	2100	1800	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	5630	5850
1800×1800	2100	2100	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	6080	6300
2000×1500	2300	1800	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	4000	127	5930	6230
2000×1800	2300	2100	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	4000	127	6380	6680
2000×2000	2300	2300	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	4000	127	6680	6980
2200×1800	2560	2160	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4400	140	8080	8470
2200×2200	2560	2560	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4400	140	8800	9190
2300×1500	2660	1860	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4600	146	7710	8160
2300×1800	2660	2160	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4600	146	8250	8700
2300×2000	2660	2360	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4600	146	8610	9060
2300×2300	2660	2660	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4600	146	9150	9600
2400×2000	2760	2360	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4800	152	8790	9290
2400×2400	2760	2760	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	4800	152	9510	10010
2500×1500	2860	1860	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	5000	159	8070	8620
2500×1800	2860	2160	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	5000	159	8610	9160
2500×2000	2860	2360	180	180	180	150	80	90	90	80	2000	5000	159	8970	9520
2500×2500	2900	2900	200	200	200	150	90	100	100	90	2000	5000	159	11030	11570
2800×1500	3200	1900	200	200	200	200	90	100	100	90	2000	5600	178	9800	10420
2800×2000	3200	2400	200	200	200	200	90	100	100	90	2000	5600	178	10800	11420
2800×2500	3200	2900	200	200	200	200	90	100	100	90	2000	5600	178	11800	12420
2800×2800	3200	3200	200	200	200	200	90	100	100	90	2000	5600	178	12400	13020
3000×1500	3400	2000	250	250	200	200	90	100	100	90	2000	6000	191	11900	12650
3000×2000	3400	2500	250	250	200	200	90	100	100	90	2000	6000	191	12900	13650
3000×2500	3400	3000	250	250	200	200	90	100	100	90	2000	6000	191	13900	14650
3000×3000	3500	3500	250	250	250	200	120	120	130	110	2000	6000	191	16650	17400
3500×2000	4000	2600	300	300	250	300	120	120	130	110	2000	7000	222	17900	18740
3500×2500	4000	3100	300	300	250	300	120	120	130	110	2000	7000	222	19150	19990
4000×2000	4500	2600	300	300	250	300	120	120	130	110	1500	8000	254	14550	15470
4000×2500	4500	3100	300	300	250	300	120	120	130	110	1500	8000	254	15490	16410
4500×2000	5100	2760	380	380	300	300	140	150	150	140	1000	9000	286	13140	13980
4500×2500	5100	3260	380	380	300	300	140	150	150	140	1000	9000	286	13890	14730
5000×2000	5660	2760	380	380	330	300	160	160	170	150	1000	10000	318	14510	15590
5000×2500	5660	3260	380	380	330	300	160	160	170	150	1000	10000	318	15330	16410

注 記号は、図-1、図-2を参照。

※1：Lは呼び長さであり、製品実長は目地幅（5mm）を考慮した長さ（L-5mm）とする。また、L=2000mmの場合には、1500mm又は1000mmに、L=1500mmの場合には、1000mmとすることができる。

※2：R、hは、I型のインバート部の寸法を示す。

表-6 RCボックスカルバートの寸法

呼び $B \times H$	寸法 (単位 mm)													ブロック質量 (kg/本)	
	B'	H'	$T1$	$T2$	$T3$	C	D	E	F	G	$L^{(*1)}$	$R^{(*2)}$	$h^{(*2)}$	SD,SF 型	ID,IF 型
600×600	860	860	130	130	130	100	60	60	70	50	2000	1200	38	2000	1990
700×700	960	860	130	130	130	100	60	60	70	50	2000	1400	44	2260	2260
800×800	1060	1060	130	130	130	100	60	60	70	50	2000	1600	51	2520	2540
900×600	1160	860	130	130	130	100	60	60	70	50	2000	1800	57	2390	2420
900×900	1160	1160	130	130	130	100	60	60	70	50	2000	1800	57	2780	2810
1000×800	1260	1060	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2000	64	2900	2900
1000×1000	1260	1260	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2000	64	3160	3160
1000×1500	1260	1760	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2000	64	3810	3810
1100×1100	1360	1360	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2200	70	3420	3440
1200×800	1460	1060	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2400	76	3160	3200
1200×1000	1460	1260	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2400	76	3420	3460
1200×1200	1460	1460	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2400	76	3680	3720
1200×1500	1460	1760	130	130	130	150	60	60	70	50	2000	2400	76	4070	4110
1300×1300	1560	1580	140	140	130	150	60	60	70	50	2000	2600	83	4100	4160
1400×1400	1660	1700	150	150	130	150	60	60	70	50	2000	2800	89	4540	4630
1500×1000	1780	1320	160	160	140	150	70	60	80	50	2000	3000	95	4470	4600
1500×1200	1780	1520	160	160	140	150	70	60	80	50	2000	3000	95	4750	4880
1500×1500	1780	1820	160	160	140	150	70	60	80	50	2000	3000	95	5170	5300
1800×1200	2100	1540	170	170	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	5600	5820
1800×1500	2100	1840	170	170	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	6050	6270
1800×1800	2100	2140	170	170	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	6500	6720
2000×1500	2320	1840	180	180	160	200	80	70	90	60	2000	4000	127	6980	7200
2000×1800	2320	2160	180	180	160	200	80	70	90	60	2000	4000	127	7460	7680
2000×2000	2320	2360	180	180	160	200	80	70	90	60	2000	4000	127	7780	8000
2200×1800	2560	2200	200	200	180	200	90	80	100	70	1500	4400	140	6570	6800
2200×2200	2560	2600	200	200	180	200	90	80	100	70	1500	4400	140	7110	7340
2300×1500	2660	1900	200	200	180	200	90	80	100	70	1500	4600	146	6320	6580
2300×1800	2660	2200	200	200	180	200	90	80	100	70	1500	4600	146	6720	6990
2300×2000	2660	2400	200	200	180	200	90	80	100	70	1500	4600	146	6990	7260
2300×2300	2660	2700	200	200	180	200	90	90	100	80	1500	4600	146	7400	7660
2400×2000	2780	2420	210	210	190	200	90	90	100	80	1500	4800	152	7530	7830
2400×2400	2780	2820	210	210	190	200	90	90	100	80	1500	4800	152	8100	8400
2500×1500	2900	1940	220	220	200	200	100	90	110	80	1500	5000	159	7340	7680
2500×1800	2900	2240	220	220	200	200	100	90	110	80	1500	5000	159	7790	8130
2500×2000	2900	2440	220	220	200	200	100	90	110	80	1500	5000	159	8090	8430
2500×2500	2900	2940	220	220	200	200	100	90	110	80	1500	5000	159	8840	9180
2800×1500	3240	1980	240	240	220	200	110	100	120	90	1000	5600	178	5740	6050
2800×2000	3240	2480	240	240	220	200	110	100	120	90	1000	5600	178	6290	6600
2800×2500	3240	2980	240	240	220	200	110	100	120	90	1000	5600	178	6840	7150
2800×2800	3240	3280	240	240	220	200	110	100	120	90	1000	5600	178	7170	7480
3000×1500	3480	2020	260	260	240	300	120	110	130	100	1000	6000	191	6770	7020
3000×2000	3480	2520	260	260	240	300	120	110	130	100	1000	6000	191	7370	7620
3000×2500	3480	3020	260	260	240	300	120	110	130	100	1000	6000	191	7970	8220
3000×3000	3480	3520	260	260	240	300	120	110	130	100	1000	6000	191	8570	8820
3500×2000	4000	2620	310	310	250	300	120	120	130	110	1000	7000	222	9150	9570
3500×2500	4000	3120	310	310	250	300	120	120	130	110	1000	7000	222	9780	10190

注 記号は、図-1、図-2を参照。

※1：Lは呼び長さであり、製品実長は目地幅（5mm）を考慮した長さ（L-5mm）とする。また、L=2000mmの場合は、1500mm又は1000mmに、L=1500mmの場合は、1000mmとすることができる。

※2：R、hは、インバート部の寸法を示す。

表-7 HTCボックスカルバートの寸法

呼び $B \times H$	寸法 (単位 mm)													ブロック質量 (kg/本)	
	B'	H'	$T1$	$T2$	$T3$	C	D	E	F	G	$L^{(*1)}$	$R^{(*2)}$	$h^{(*2)}$	SD,SF 型	ID,IF 型
600×600	800	800	100	100	100	100	50	40	60	30	2000	1200	38	1500	1480
700×700	900	900	100	100	100	100	50	40	60	30	2000	1400	44	1700	1700
800×800	1000	1000	100	100	100	100	50	40	60	30	2000	1600	51	1900	1910
900×600	1100	840	120	120	100	150	50	40	60	30	2000	1800	57	2150	2120
900×900	1100	1140	120	120	100	150	50	40	60	30	2000	1800	57	2450	2420
1000×800	1200	1040	120	120	100	150	50	40	60	30	2000	2000	64	2470	2460
1000×1000	1200	1240	120	120	100	150	50	40	60	30	2000	2000	64	2670	2660
1100×1100	1350	1350	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2200	70	3290	3300
1200×800	1450	1050	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3040	3080
1200×1000	1450	1250	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3290	3330
1200×1200	1450	1450	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3540	3580
1200×1500	1450	1750	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2400	76	3920	3960
1300×1300	1550	1550	125	125	125	150	60	55	70	45	2000	2600	83	3790	3860
1400×1400	1700	1700	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	2800	89	4880	4970
1500×1000	1800	1300	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	4430	4550
1500×1200	1800	1500	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	4730	4850
1500×1500	1800	1800	150	150	150	150	70	70	80	60	2000	3000	95	5180	5300
1800×1500	2100	1820	160	160	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	5840	6060
1800×1800	2100	2120	160	160	150	150	70	70	80	60	2000	3600	114	6290	6510

注 記号は、図-1、図-2を参照。

- ※1：Lは呼び長さであり、製品実長は目地幅（5mm）を考慮した長さ（L-5mm）とする。また、
L=2000mmの場合は、1500mm又は1000mmに、L=1500mmの場合は、1000mmとすることができる。
- ※2：R、hは、I型のインバート部の寸法を示す。

9. 施工について

プレキャストボックスカルバート相互の接続は、当協会独自のPC鋼棒による縦締め連結工法、または高弾性接着剤を使用したTB（タッチボンド）工法によって行いますので、連続性、可とう性、水密性、耐震性に優れています。

(1) PC鋼棒による縦締め連結工法

製品端面に反発弾性に富んだゴム材を貼り、製品長さ方向に設けた連結用孔に縦締めPC鋼棒を通して緊張・定着することにより、管軸方向にプレストレスを与えてゴム材を圧密し、製品同士の緊結一体化を図っています。

特長

① 連続性

PC鋼棒により連結されていますので、連続性が保持され、離脱を防止できます。

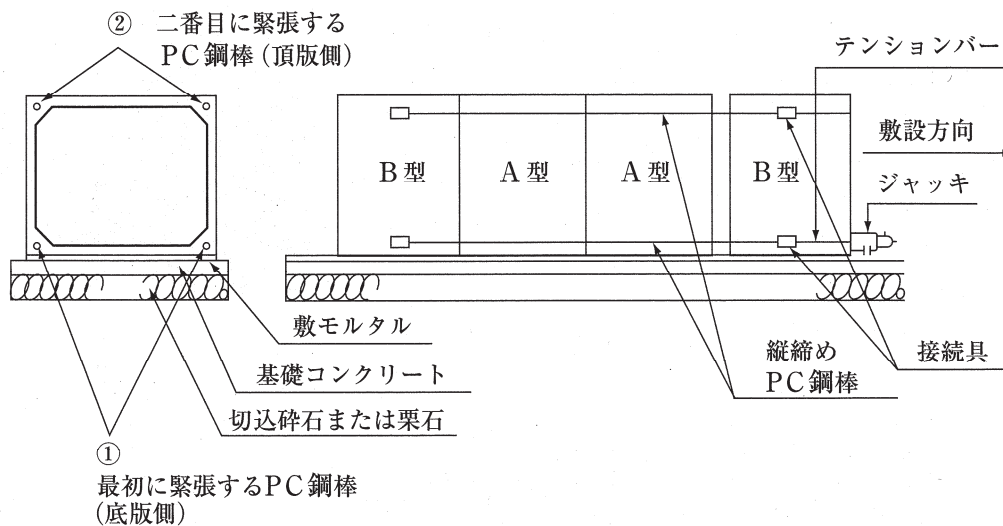
② 可とう性、伸縮性

縦締めPC鋼棒によりプレストレスを与え、ゴム材を圧密して製品同士を緊結していますので、この反発弾性に富んだゴム材が屈曲性能、たわみ性能、伸縮性等を有する柔構造を実現し、可とう性に優れた構造になります。

③ 水密性

反発弾性に富んだゴム材をプレストレスにより圧密することにより、優れた水密性を発揮します。

図-7 縦締め連結工法の一例



(2) 高弾性接着剤を使用したTB（タッチボンド）工法

ボックスカルバートの端面に埋設したソケットに、複数の節のあるジョイントバーを差し込むことによりボックスカルバートを接続し、端面に二列に貼付したシール材と接続面とで形成されるスペースに高弾性接着剤を充填することによって、ボックスカルバート同士を接着接合する工法です。

特長

① 継手構造の連続性

F型の他工法と決定的に異なるのは、曲線部及び断面変化部も直線部とまったく同じ方法で接合できることであり、ボックスカルバート全線が構造的及び性能的に同じ連続性、耐震性、水密性を有する管路を構築することができます。

② 耐震性

ボックスカルバートの軸方向の変位を抑制するワンタッチジョイントと伸び能力に優れた高弾性接着剤とがすべての継手部を柔軟に接合するため、地震時の地盤の変位に自在に追随しながら、水密性に優れた管路を構築できます。

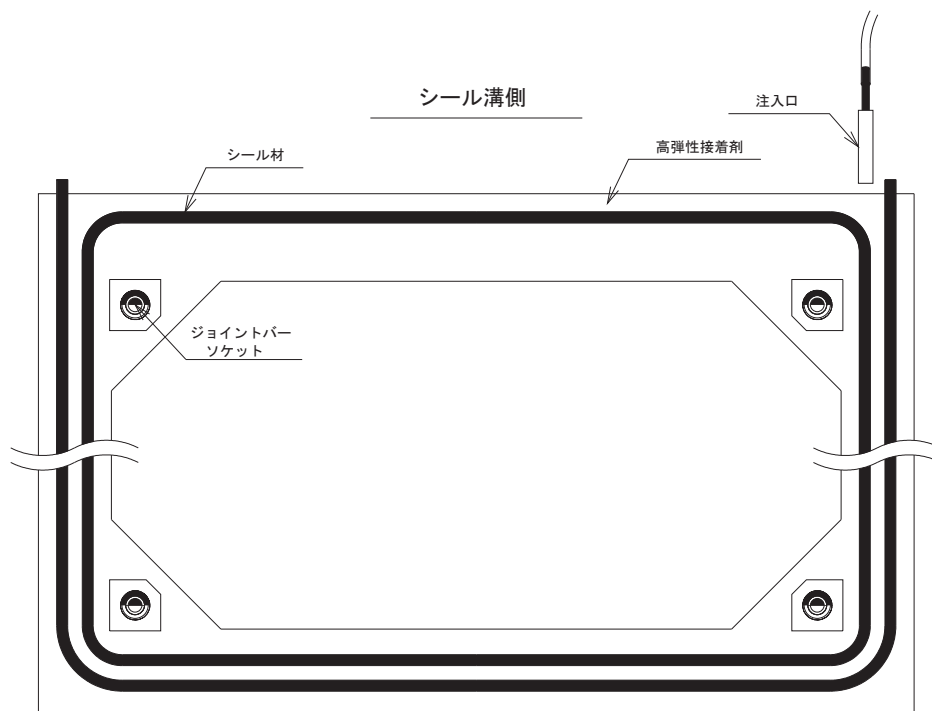
③ 水密性

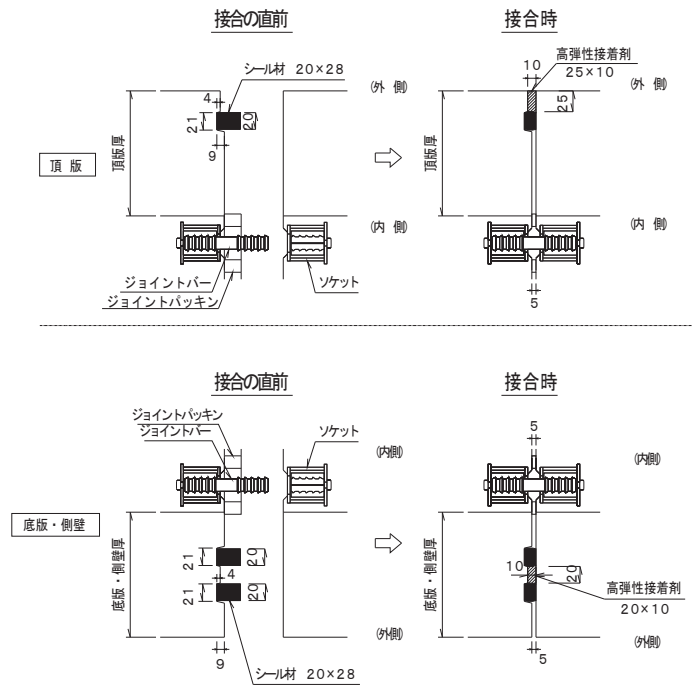
高弾性接着剤による接着接合は、従来の地下道、共同溝、防火水槽などで施工されていた樹脂による目地と同等以上の水密性を有しています。

④ 施工性

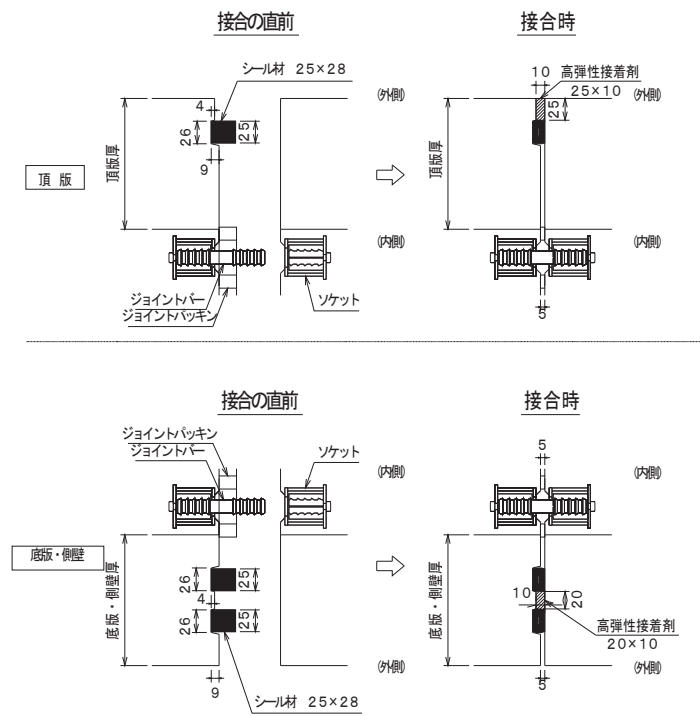
ボックスカルバートを押し込むだけで所定の離間量を確保しながら素早く接続でき、またすべての接合作業をボックスカルバートの外で行うことができるなど、効率的かつ安全性の高い施工が可能です。

図ー8 TB（タッチボンド）工法の端面構造図





図－9 内幅及び内高が2m以下の場合



図－10 内幅または内高が2mを超える場合

(3) 鉄筋コンクリート製プレキャスト基礎板

プレキャストボックスカルバートは、急速施工が可能で、工期を短縮できる特長をもっています。しかし、一般に基礎コンクリートは現場打ちで施工されるため、養生の期間だけ工期が伸びます。これを解決し、より一層プレキャストボックスカルバートの施工の迅速化を図るため、鉄筋コンクリート製プレキャスト基礎板を開発しました。このプレキャスト基礎板は高強度コンクリートと高張力異形鉄筋を使用したハイテンションコンクリート製品で、従来の鉄筋コンクリート製品に比べて高強度で軽量、しかも経済的な製品です。これにより、今までの現場打ち基礎コンクリートの養生に要した期間を更に短縮し、急速施工の目的を十分に果たすことができます。

表-8 敷設方法による種類

種類	厚さ (mm)	敷設方法
I 型	100	敷設方向に並列に敷設する
II 型	150	井桁状に敷設する

図-11 プレキャスト基礎板の施工例

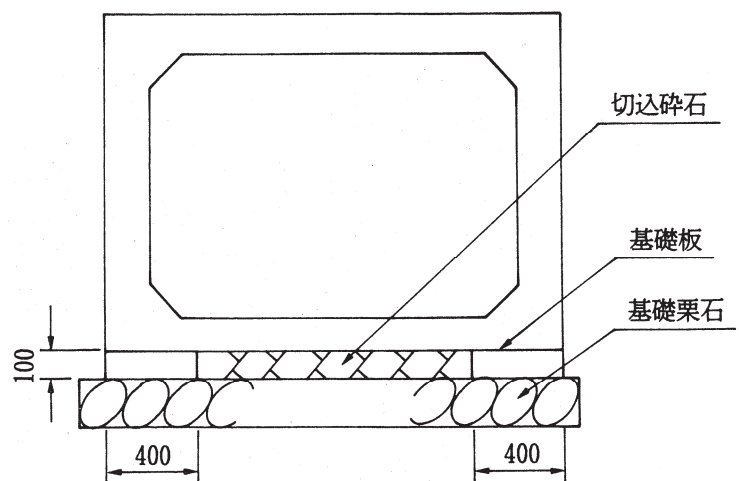
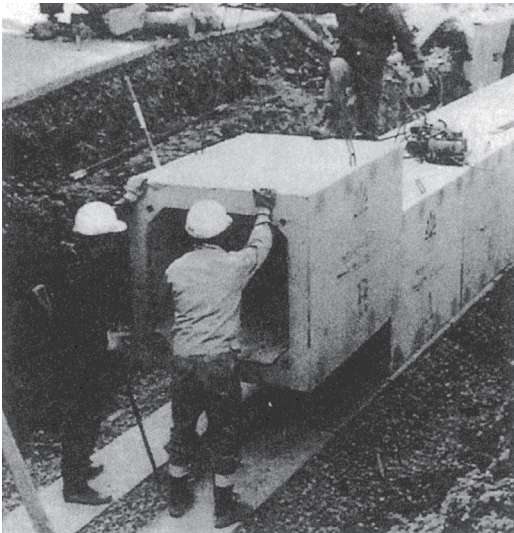
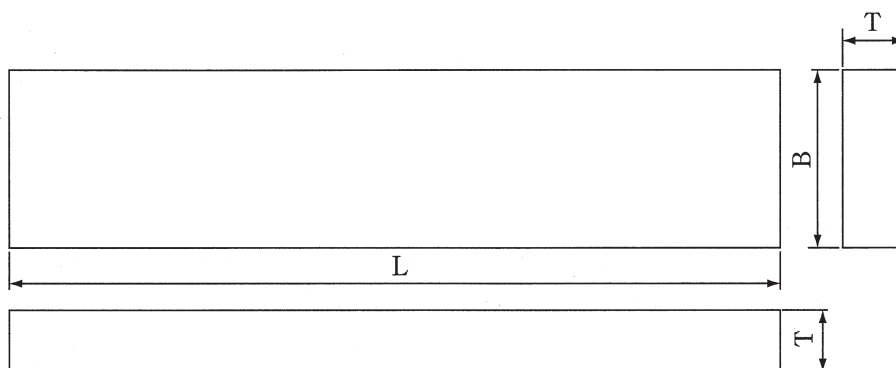


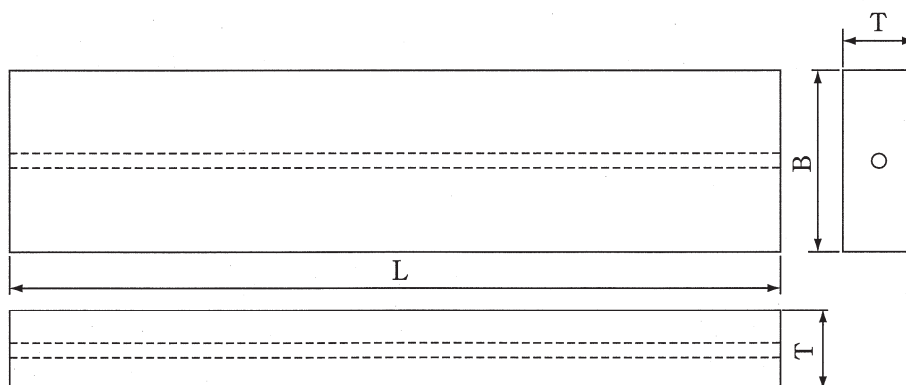
表-9 プレキャスト基礎板の寸法

種類	種類の記号	幅 B	厚さ T	長さ L
I 型	I	400	100	3100~1500
II 型	II A	400	150	4100~1200
	II B			

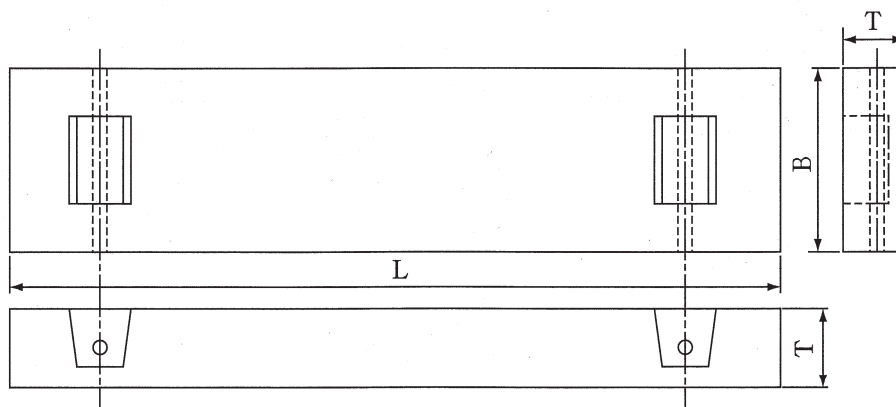
図-12 プレキャスト基礎板の形状



I型の形状



II型、II Aの形状



II型、II Bの形状

(4) 掘削の標準

ボックスカルバートを敷設する場合の掘削及び直接基礎の標準寸法を下記に示します。

図-13 掘削及び直接基礎の標準寸法図

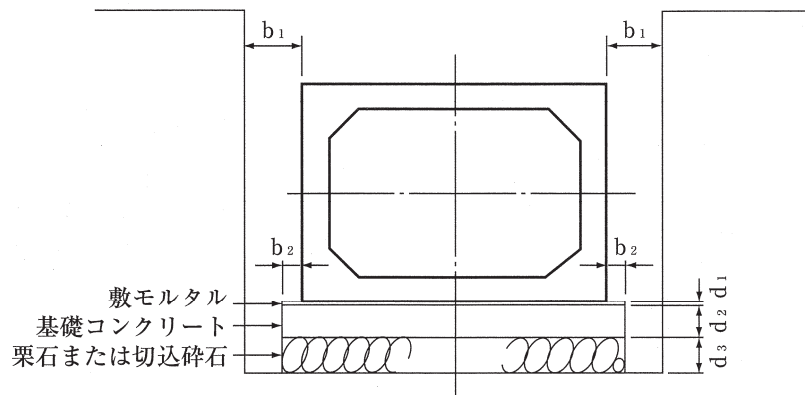
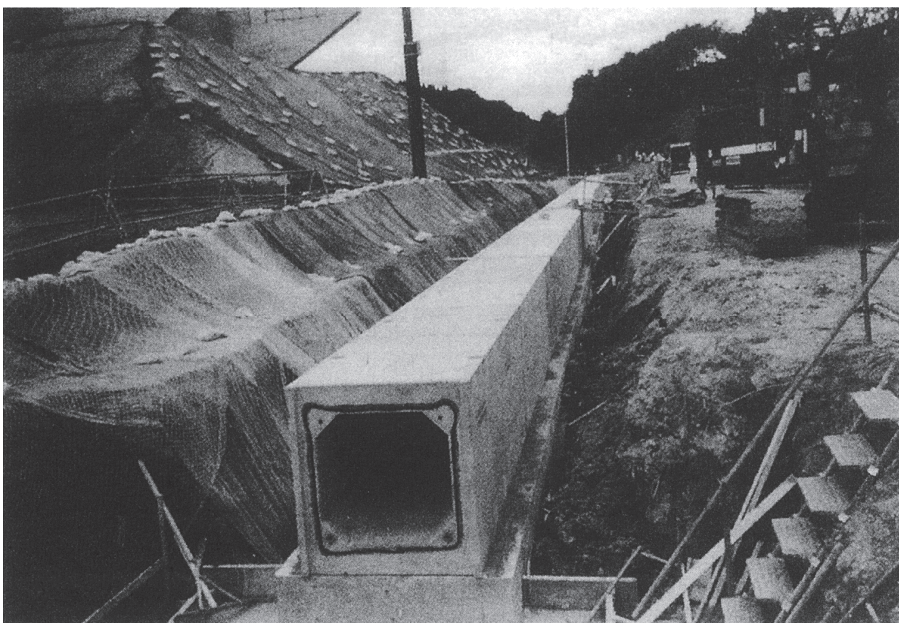


表-10 基礎の標準寸法

記号	寸法 (mm)	備	考
b_1	300 ~ 400	外側にポリウレタン系樹脂等で目地を行うときは600mm	
b_2	100 ~ 150		
d_1	30内外		
d_2	50 ~ 300	基盤の良悪によって設計者はこれ以上にして下さい。 プレキャスト基礎板の使用可 (P15参照)	
d_3	150 ~ 350		



10. 地震の被害調査結果

PC鋼棒による縦締め連結工法及び高弾性接着剤によるTB（タッチボンド）工法によって施工された当協会のボックスカルバートは、過去の各地の地震災害でも優れた耐震性を実証しています。（表-10～表-12参照）

表-10 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被害調査結果 【平成23年発生】

震度	施工場所	寸法(mm) 接合方法	施工延長 (m)	種類	調査結果		備考 周辺被災状況等
					本体	ジョイント部	
7	(※1) 宮城県 栗原市	2500×2500×2000 2000×2000×2000 TB工法	80.0m 33.0m	PC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	今回の地震で最大 震度7を観測 周辺家屋半壊
7	(※2) 宮城県 栗原市	2500×2500×2000 PC鋼棒による 縦締め連結工法	46.778m	PC	クラック、 損傷 なし	漏水なし 目地部剥 落	今回の地震で最大 震度7を観測 周辺家屋半壊
6弱	(※3) 宮城県 白石市	700×700×2000 TB工法	64.7m	HTC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	周辺家屋半壊
6強	(※4) 茨城県 銚田市	1500×1500×2000 TB工法	24+23m	HTC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	護岸ブロックにズ レが発生し、また 接続柵も損壊
5強	(※5) 千葉県 八千代 市	2300×2300×1500 2500×2500×1500 TB工法	253.9m 104.0m	PC PC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	一部で不同沈下が 発生して35mmの ズレが発生したが 漏水なし
6弱	(※6) 茨城県 石岡市	800×800×2000 TB工法	189m	HTC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	周辺の側溝にズレ が発生
6弱	茨城県 つくば 市	1500×1800×2000 TB工法	63.6m	アーチ	クラック、 損傷 なし	漏水なし	
4	東京都 青梅市	700×400×2000 TB工法	28.0m	HTC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	
4	東京都 町田市	2500×1300×1500 TB工法	155.0m	PC	クラック、 損傷 なし	漏水なし	

注) 施工場所欄(※1)～(※6)の被害状況写真を事項に示す。

東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被害状況写真

(※1) 宮城県栗原市 BOX 2000×2000×2000mm 他
(TB工法)



(※2) 宮城県栗原市 BOX 2500×2500×2000mm
(PC鋼棒による縦締め連結工法)



(※3) 宮城県白石市 BOX 700×700×2000mm
(TB工法)



(※4) 茨城県銚田市 BOX 1500×1500×2000mm
(TB工法)



(※5) 千葉県八千代市 BOX 2300×2300×1500mm 他
(TB工法)



(※6) 茨城県石岡市 BOX 800×800×2000mm
(TB工法)



表-11 兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）の被害調査結果 【平成7年発生】

震度 (推定)	施工場所	寸 法 (mm)	数量 (本)	施工 時期	種類	連結方法 の有無	調査結果		周辺の 状 況
							本体	ジョイント 部	
7	淡路島 北淡町	3000×2500×1500	42	H3.4	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	周囲家 屋全壊
5	加古川市	2000×2000×2000	19	H5.3	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋破損
		2000×2000×2000	43						
7	宝塚市	4000×2500×1500	103	H2.12	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋破損
		2000×2500×1500	30						
7	神戸市	2200×1800×1500	224	H6.7	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	特に被 害なし
7	淡路島 北淡町	4500×2400×1500	16	H2.12	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	周囲家 屋全壊
		3100×1900×1500	14						
6	伊丹市	2400×1300×1500	139	H5.2	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋倒壊
6	宝塚市	2800×1700×1500	46	H6.10	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋倒壊
6	西宮市	3600×1400×1500	253	S63.6	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋倒壊
6	西宮市	3600×2800×1000	48	H2.7	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋倒壊
			96	H2.12					
			88	H3.7					
			54	H3.11					
6	伊丹市	3000×1500×1500	24	H3.10	PC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	特に被 害なし
		2000×2500×1500	131	H3.10	PC				
		1600×1200×2000	44	H3.3	PC				
6	伊丹市	1800×1800×2000	86	H4.11	HTC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	特に被 害なし
		1600×1900×2000	44		HTC				
7	神戸市	1800×1500×2000	26	H6.4	HTC	PC 縦締め	異常 なし	異常 なし	一部家 屋破損

表-12 日本海中部沖地震の被害調査結果 【昭和58年発生】

施工場所	寸法 (mm)	数量 (本)	施工延長 (m)	種類	連結方法 の有無	調査結果	
						本体	ジョイント部
井川	1400×1000×2000	14	32.5	HTC	無	異常なし	ジョイントずれ 中央部隆起
	1400×1000×1500	3					
井川	1700×1000×1500	15	22.5	HTC	無	異常なし	ジョイントずれ
八橋	1500×2100×1500	87	130.5	PC	無	異常なし	ジョイントずれ 小口破損
手形	1800×1800×1500	12	18.0	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
手形	1500×1500×1500	8	12.0	HTC	PC縦締め	異常なし	異常なし
飯島	3000×2600×2000	11	20.0	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
仁井田	3000×2600×2000	9	18.0	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
蓮沼	4500×2000×1000	9	9.0	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
牛島	3000×2600×2000	8	16.0	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
脇本	2800×1800×1500	7	10.5	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
土崎	1300×800×1500	23	59.0	HTC	PC縦締め	異常なし	異常なし
	1300×800×1000	9					
松崎	3000×2000×1350	2	5.5	PC	PC縦締め	異常なし	異常なし
	3000×2000×1400	2					

11. 類似品について

規格品と異なった設計条件や内空断面が必要である場合には、特例措置として適用されます、類似品A及び類似品Bがあります。

類似品A（個別に類似品の承認申請を必要としないもの）

規格品と同じ設計条件であって規格品以外の内空断面寸法のもので、内空断面寸法の規定は特にありませんが、部材厚については、同一種類の規格品の中に同じ内幅がある場合は、規格品と同等もしくは規格品以上の厚さとし、規格品の中に同じ内幅がない場合は、同一種類の規格品の中で内幅が直近上位もしくは直近下位の規格品と同等もしくはそれ以上の厚さと規定されています。

類似品B（個別に類似品の承認申請が必要なもの）

荷重または土かぶりの設計条件が規格品と異なるもの（①活荷重が、車両総重量245kN以外の場合、②土かぶりが0.2m未満もしくは、3.0mを超える場合、③その他、特殊な設計条件の場合）と規定されています。内空断面の規定や部材厚の規定はありません。

	類似品A	類似品B
I. 設計条件の規定	規格品と同じ設計条件を満足する「表-5、表-6、表-7」以外の断面をいう。 規格品の設計条件 ①活荷重 車両総重量245kN (T-25) ②土かぶり 0.2m ~ 3.0m	荷重条件または、土かぶり条件が下記の何れかに該当するものをいう。 ①活荷重が車両総重量245kN (T-25) 以外の場合 ②土かぶりが0.2m未満もしくは3.0mを超える場合 ③その他、特殊な設計条件の場合
II. 内空断面の規定	特に規定なし。	特に規定なし。
III. 部材厚の規定	①内幅が規格にある場合、その部材厚は同一種類の規格品と同等もしくは規格品以上の厚さとする。 ②内幅が規格にない場合は、その部材厚は同一種類の直近上位もしくは直近下位の規格品と同等もしくは規格品以上の厚さとする。	特に規定なし。

【解説】同一種類とは、同一構造の規格品をいう。

規格品Bとして扱う製品例

- ・規格品と同一品（同一形状、同一仕様）を車両総重量245kN (T-25) 以外の荷重条件に使用した場合を含む。
(T-20、T-14等や等分布荷重)
- ・規格品と同一品（同一形状、同一仕様）を土かぶり0.2m未満もしくは3.0mを超える条件に使用した場合も含む。

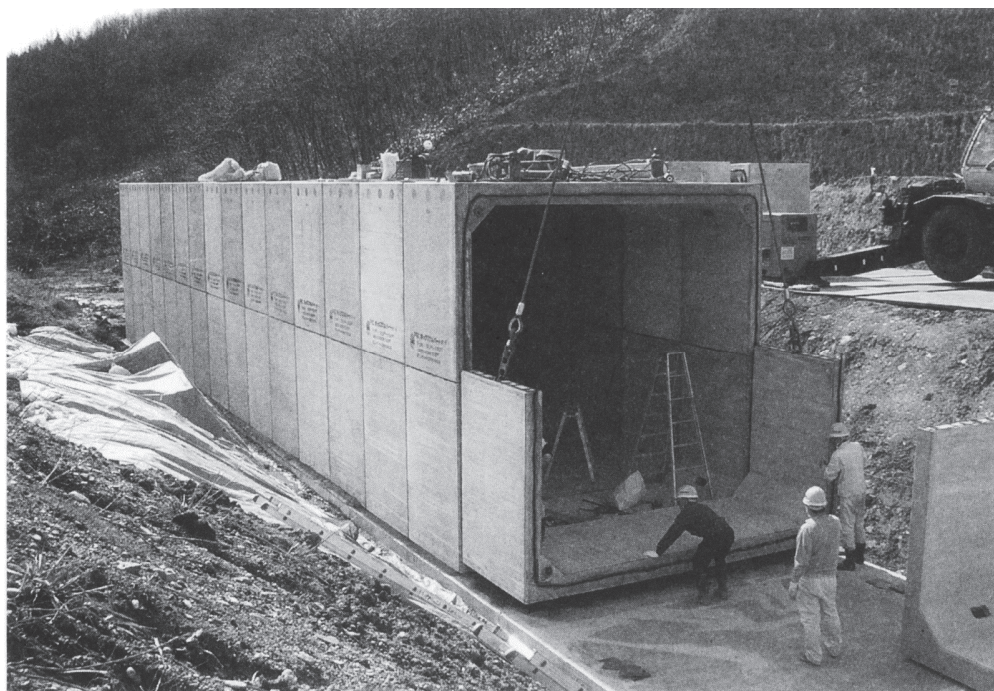
12. (公社) 日本下水道協会認定外製品

(1) 二分割・多分割PCボックスカルバート

下水道、河川、地下道、共同溝等、多岐にわたってプレキャストボックスカルバートが使用されるようになり、その断面も大型化しています。しかし、工場製品であるプレキャストボックスカルバートは、製造時及び運搬時に質量や寸法に制限を受けるため、上下に二分割あるいは三分割して製造し、現場に搬入した後、PC鋼材によりプレストレスを与えて組み立て一体化する工法で、断面の大型化に対応しています。

特 長

- ① 多分割することにより製造・運搬が可能となり、PC鋼棒で一体化施工することで、大型化に対応できます。
- ② 上下方向に分割されたブロックを、プレストレスを導入することにより、剛性の高い一体構造にすることができます。
- ③ 敷設位置で組み立てを行うので、最大質量のブロックを吊り上げることができる重機で施工が可能となり、経済的です。
- ④ 製品同士は、協会独自のPC鋼棒による縦締め連結工法、あるいは高弾性接着剤によるTB（タッチボンド）工法によって接続されるので、連続性、可とう性、水密性、耐震性に優れた構造物が構築できます。

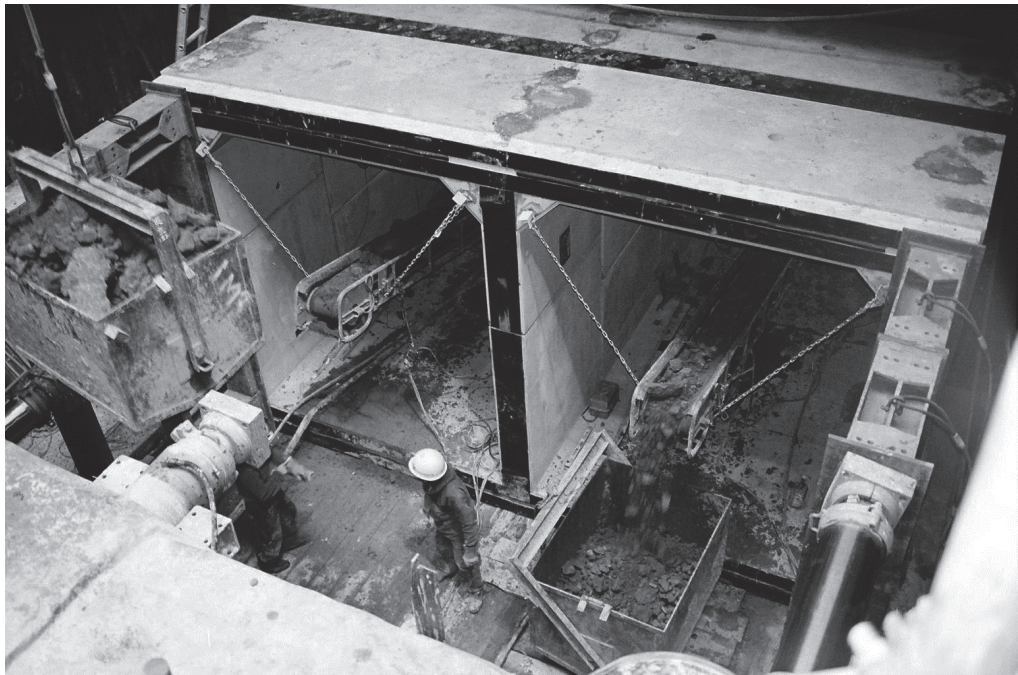


(2) 推進工法用PCボックスカルバート

都市化の進展に伴い、交通渋滞の解消、騒音や振動等の公害問題等、立地条件や環境条件を総合的に判断し、推進工法は、目覚ましい発展を遂げつつあります。このような状況のもとに、当協会は永年にわたる研究と施工経験を活用し、推進工法を更に効率化、機能化するため、プレストレストコンクリート構造を採用した、推進工法用PCボックスカルバートを規格化しています。

特 長

- ① 側壁にもPC鋼棒を配置して、推進中の偏荷重によるひび割れの発生を防止しています。
- ② ジョイントの端面形状をフラットにするとともに、スポンジゴム等の緩衝材を配置して推進力が均等に作用するように対応しています。
- ③ ゴム輪、水膨張性ゴム、弾性シーリング等により、完全に漏水を防止できます。
- ④ 鋼製カラーは、製造時にコンクリートと一体化する先付けとしていますので、推進中に鋼製カラーがめくれる等の事故の心配がありません。
- ⑤ PC鋼棒による縦締め連結工法により、推進中、推進完了後も製品同士を緊結一体化しています。



日本PCボックスカルバート製品協会

東京都中央区新富1丁目8番11号 東新ビル5階 TEL03(3206)1913 FAX03(3206)1914

<http://www.pc-boxculvert.jp>

E-mail info@pc-boxculvert.jp

【北海道支部】

(株) ホ ッ コ ン	北海道深川市3条9-26	0164(22)1711
東陽上村アドバンス(株)	札幌市白石区菊水2条3-1-34	011(821)1404
共和コンクリート工業(株)	札幌市北区北8条西3-28 札幌エルプラザ11階	011(736)0181
日本ヒューム(株)札幌支社	札幌市中央区大通西4-1 道銀ビル8F	011(231)8141

【東北支部】

(株) 山 健	青森県弘前市大字門外字村井50-1	0172(28)2111
日本ヒューム(株)東北営業所	仙台市青葉区二日町3番10号 グラン・シャリオビル5F	022(713)8005
(株)大 伸 産 業	岩手県盛岡市上堂4-5-28	019(601)8752
岩手ハネダコンクリート(株)	岩手県奥州市江刺区玉里字上上野121-1	019(736)3311
旭コンクリート工業(株)秋田営業所	秋田県男鹿市船越字内子294	0185(35)3221
東北藤村ヒューム管(株)	秋田市山王中島町13-1	018(864)8751
旭コンクリート工業(株)東北支社	仙台市青葉区上杉3-3-21 上杉NSビル2F	022(266)2531
旭コンクリート工業(株)仙台営業所	仙台市青葉区上杉3-3-21 上杉NSビル2F	022(266)2531
東栄コンクリート工業(株)	山形市富神台19	023(643)1144
中川ヒューム管工業(株)北上営業所	岩手県北上市若宮町1-10-20	0197(64)1131
中川ヒューム管工業(株)郡山営業所	福島県郡山市安積町笹川字境橋43	024(945)0715
羽田コンクリート工業(株)山形営業所	山形県長井市上伊佐沢2210	0238(84)2890

【北関東支部】

(株) 日 東	埼玉県坂戸市千代田5-7-24	049(283)5181
羽田コンクリート工業(株)埼玉営業所	さいたま市北区宮原町3-276-5 京浜ビル2F	048(651)0551
旭コンクリート工業(株)埼玉営業所	さいたま市北区宮原町3-376-1 サンフィール大宮宮原202	048(662)3511
日本ヒューム(株)北関東営業所	さいたま市大宮区吉敷町1-31-1 明治安田生命大宮吉敷町ビル4F	048(612)7604
共和コンクリート工業(株)北関東支店	土浦市港町1丁目7-23 ホープビル9F	029(824)9715

【関東支部】

旭コンクリート工業(株)	東京都中央区築地1-8-2	03(3542)1201
羽田コンクリート工業(株)	東京都千代田区麴町5-7-2 麴町31MTビル	03(3556)0464
共和コンクリート工業(株)東京本社	東京都豊島区南大塚3-10-10 日本生命南大塚ビル	03(6907)3721
日本ヒューム(株)	東京都港区新橋5-33-11	03(3433)4111
フジミ工研(株)	東京都練馬区高松5-8-20 J.CITY14F	03(6913)4330
旭コンクリート工業(株)横浜営業所	横浜市中区長者町5-85 明治安田生命ラジオ日本ビル8F	045(264)2670
中川ヒューム管工業(株)	茨城県土浦市真鍋1-16-11 延増第3ビル8F	029(821)3611
旭コンクリート工業(株)千葉営業所	千葉市中央区栄町35-14 FC千葉ビル6F	043(201)2001

【甲信越支部】

アスザック(株)	長野県上高井郡高山村大字中山981	026(245)6567
羽田コンクリート工業(株)長野営業所	長野県安曇野市豊科町高家1092	0263(72)3340
龍王産業(株)	山梨県甲斐市竜王2111	055(276)2014
藤村ヒューム管(株)	新潟県柏崎市栄町7-8	0257(22)3144
日本ヒューム(株)東京支社	東京都港区新橋5-33-11 新橋NHビル2F	03(3433)4121

【中部北陸支部】

大有コンクリート工業(株)	名古屋市中区金山5-14-2	052(882)6291
旭コンクリート工業(株)名古屋営業所	名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦シティビル7F	052(231)8481
日本ヒューム(株)名古屋支社	名古屋市中区新栄2-19-6 グランスクウェア新栄4F	052(253)9061
平和コンクリート工業(株)	三重県四日市市楠町吉崎1	059(397)3171
佐々波コンクリート工業(株)	石川県七尾市万行町5部129番14号	0767(53)2090
セキサンピーシー(株)	福井市中昆沙門町1-1-1	0776(41)7878
旭コンクリート工業(株)金沢営業所	金沢市広岡1丁目10-9 クオリティシャトウ102	076(232)7701

【近畿支部】

旭コンクリート工業(株)西部支社	京都市右京区山ノ内池尻町6	075(314)3611
旭コンクリート工業(株)滋賀営業所	京都市右京区山ノ内池尻町6	075(314)3611
旭コンクリート工業(株)阪神営業所	大阪市淀川区宮原4-3-12 新大阪明幸ビル5F	06(4866)5381
日本ヒューム(株)大阪支社	大阪市西区靱本町1-20-13 なにわ筋ビル6F	06(6479)2020
旭コンクリート工業(株)神戸出張所	大阪市淀川区宮原4-3-12 新大阪明幸ビル5F	06(4866)5381
旭コンクリート工業(株)和歌山営業所	和歌山市黒田84-1 阪和第1ビル5F	073(471)2821

【中国支部】

昭和セメント工業(株)	島根県出雲市上塩冶町2775-5	0853(23)4560
岡山コンクリート工業(株)	岡山市東区藤井288-1	086(279)0551
日本ヒューム(株)岡山営業所	岡山市北区本町10-22 本町ビル6F	086(235)8891
山陽ブロック工業(株)	広島市南区松川町2-3 山陽松川ビル2F	082(568)8515
(株)マシノ	広島市西区庚午中1-19-23	082(507)2757
カワノ工業(株)	山口県柳井市柳井1740-1	0820(22)1111

【四国支部】

(株)総合開発	香川県観音寺市瀬戸町2-14-16	0875(25)4131
---------	-------------------	--------------

【九州支部】

水谷建設工業(株)	福岡県田川市大字伊加利2193	0947(44)2111
日本ヒューム(株)福岡支社	福岡市博多区下呉服町2-29 栗原工業ビル3F	092(283)5155
下村コンクリート工業(株)	福岡県北九州市小倉北区熊本1-3-9	093(931)2751
山忠商店(株)	大分市大字皆春1520-1	097(521)3131
九州中川ヒューム管工業(株)	宮崎市佐土原町大字下田島20048	0985(73)1411
土佐屋コンクリート工業(株)	熊本市坪井6-38-15 建峰ビル6F	096(343)3855
コーアツ工業(株)	鹿児島市伊敷5-17-5	099(229)8181

【沖縄支部】

東洋コンクリート(株)	沖縄県中頭郡西原町字兼久218	098(945)2762
リウコン(株)	沖縄県中頭郡西原町字小那覇1187	098(945)3778
(株)牧港ヒューム管工業所	沖縄県浦添市牧港4-6-17	098(876)2752
大和コンクリート工業(株)	沖縄県うるま市字昆布1839-1	098(972)3535



日本ヒューム株式会社

<http://www.nipponhume.co.jp>

本 社 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33番11号 TEL:(03)3433-4111(大代)
営業本部 〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33番11号 TEL:(03)3433-4114(直)

東京支社	〒105-0004	東京都港区新橋5丁目33番11号(新橋NHビル)	TEL:(03)3433-4121(代)
大阪支社	〒550-0004	大阪市西区靱本町1丁目20番13号(なにわ筋ビル)	TEL:(06)6479-2020(代)
名古屋支社	〒460-0007	名古屋市中区新栄2丁目19番6号(グランスクエア新栄)	TEL:(052)253-9061(代)
福岡支社	〒812-0034	福岡市博多区下呉服町2番29号(栗原工業ビル)	TEL:(092)283-5155(代)
札幌支社	〒060-0042	札幌市中央区大通西4丁目1番地(道銀ビル)	TEL:(011)231-8141(代)



日本PCボックスカルバート製品協会

東京都中央区新富1丁目8番11号 TEL. 03 (3206) 1913 FAX. 03 (3206) 1914
東新ビル5階